

志木二中だより



令和2年度 4月号 令和2年4月9日(木)
志木市立志木第二中学校 志木市館1-3-1 TEL 048-473-2379

新年度のご挨拶

校長 本 莊 真

令和2年度のスタートにあたり、保護者、地域の皆様一言ご挨拶を申し上げます。

緊急事態宣言が発令され5月6日まで休校が延長されました。始業式、入学式は延期しましたが、昨日全学年の生徒に教科書配布ができました。担任やクラスの仲間もわかりホッとした笑顔が溢れていました。保護者の皆様にはご心配は尽きないことと思いますが、ご家庭と連絡をとりあいながら1か月過ごしていきたいと思っております。何かありましたらご連絡ください。

こういう時こそまずは明るい話題を。3月13日に行われた第47回の卒業証書授与式ですが、卒業生が大変立派な態度で臨んでくれました。練習なしのぶっつけ本番の証書授与、全員がきちんと私と目を合わせ堂々と証書を受け取ってくれました。大塚さんの卒業生代表の言葉では、式が中止になる学校もある中、縮小してでも行ってくれた感謝の気持ちを冒頭で述べてくれていました。うれしかったです。そして卒業生全員で歌ってくれた「旅立ちの日に」も思いがこめられていて感動しました。体育館から退場するときいつ打ち合わせたのかお世話になった3年生の先生方にお礼の言葉を。先生方、喜んだと思っております。あらためて「さすが志木二中生」と感じることでできた一日になりました。

さて、今最も大事なことは、とにかくウイルスに感染しないこと。市内で感染者がでたり有名人が亡くなったりして誰もが危機感を持っていると思っておりますが、人との接触を最小限にするよう努めることです。私は半月ほど前までは人から感染しないよう行動を慎もうと思っておりましたが、今は自分の中にウイルスが潜伏しているかもと考え「人にうつさないような行動をとる」くらいに思っています。それから、こういう閉塞感がある状況が続くとストレスがたまりイライラが募ります。いろいろな人の発言や行動に不満や怒りを感じたりします。そうすると悪循環となり、ますます世の中が暗くなります。卒業証書授与式の式辞でも話したのですが、「不満や文句ばかり言っている人には幸運はやってこない、感謝の気持ちを大切にしよう」と。難しいですが穏やかな気持ちを忘れず日常を過ごし、この困難な状況を皆で乗り越えましょう。

今年度の目指す学校像を『気持ち良い あいさつ溢れる 志木二中』としました。私のいつも話している「あいさつ」を前面に出しました。着任4年目となり今まで以上に「あいさついっぱい学校」にしたいです。生徒、保護者、地域、教職員、全員の協力をお願いいたします。今年度も朝、校門に立ち、皆様と気持ちの良いあいさつをしていきます。

一年間、本校へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。